

2024年7月2日

「浜松市における相談支援等を要する者の自殺リスクの実態と課題に関する調査」  
(2023年1月13日～2023年3月6日実施)にご回答頂いたみなさんへ

私は、聖隷クリストファー大学社会福祉学部社会福祉学科の大場義貴と申します。同学部にて精神保健福祉学、臨床心理学の研究をしています。

私は研究の一環として、若者の死因のトップである自殺に対する施策の在り方について長年研究を進めていますが、2010年からはNPO法人「遠州精神保健福祉をすすめる市民の会」の一員として、浜松市から事業委託を受け自殺対策に関わる様々な活動・研究に取り組んで参りました。つきましては、2023年1月から3月に相談支援業務に従事する方を対象に実施された「浜松市における相談支援等を要する者の自殺リスクの実態と課題に関する調査」のデータを研究に使用させて頂きたく存じます。

この研究による新たな負担は一切ありません。既に終了している調査ですが、このHPにて公開させて頂き、不同意の方の所属と性別をご本人から研究者へ連絡頂き、そのデータを解析対象から除外するという、オプトアウト(既に得ている情報等を研究への利用を回答者さまご本人の申請に従って停止すること)という方法にて対応致します。

プライバシー保護については最善を尽くします。本研究の趣旨をご理解の上、何卒、ご協力をお願い申し上げます。

この調査の回答者に該当する方で、オプトアウトの情報公開により不同意の意思表示があった場合は、無記名回答という調査の性格上、回答の特定ができないため、調査対象区分の回答者全員のデータを除外して対応します。HPでの公開は3ヶ月間行います。研究協力について不同意の方は、2024年10月3日までに下記までご連絡ください。研究に協力頂けない場合でも、将来にわたって不利益が生じることはありません。ご連絡を頂かなかつた場合、同意頂いたものとさせていただきます。

#### 対象となる方

「浜松市における相談支援等を要する者の自殺リスクの実態と課題に関する調査」(2023年1月13日～2023年3月6日実施)に回答頂いた方

1. 研究責任者: 聖隷クリストファー大学社会福祉学部社会福祉学科【大場義貴】
2. 研究課題: 浜松市における相談支援等を要する者の自殺リスクの実態と課題に関する調査
3. 意義: 浜松市とE-JANが共同で進めてきた「浜松市における相談支援等を要する者の自殺リスクの実態と課題に関する調査」の成果を、関連学会に論文投稿及び発表します。研究成果を多くの研究者と共有することで、学問としての社会福祉学のさらなる充実を図り、社会への還元を可能とします。
4. 研究期間: 倫理審査承認後～学会発表及び論文投稿まで
5. 調査と公表の方法
  - 1) E-JANが絆プロジェクトの一環として、2023年1月13日から3月6日の間で、相談支援業務に関わる者を対象に紙版・オンライン等で自記式調査(アンケート調査)のデータを、再度分析し、2025年度までに、日本社会精神医学会での発表及び同学会誌への論文投稿を行います。また、各種学術団体への報告を行います。
  - 2) 使用する情報の項目

①回答者属性 ⑤現在の仕事で困難なことや課題 ⑥クライアントの自殺リスクに関する実態 ⑦浜松市の自殺予防体制に関する実態 ⑧コロナ感染症後の変化 ⑨行政等への意見等、自記式調査票にて収集したデータ。

3)目標有効回答数:112 件

## 6. 回答者に同意を得る方法

既に実施済の調査は無記名式で、説明文には本学の倫理審査申請ガイドに倣い『調査用紙の提出をもって研究への同意とみなす』の一文を付しています。しかし、当調査は、浜松市と E-JAN の契約により行われたため、本学の倫理審査申請は行っていません。よって事後的研究の目的やデータ使用に関して、オプトアウトという形式で公開し調査対象者の承諾を得ます(具体的には E-JAN の HP 上で3か月間公開)。不同意の方があった場合には、その方の調査対象区分<表 1>と性別をご本人から研究者へ連絡頂きます。無記名回答で個人が確定できないため、不同意の方があった場合には、その方を含む区分データ全体を解析対象から除外することで対応します。ご連絡を頂かなかった場合、同意頂いたものとさせていただきます。ご理解とご協力をお願いいたします。

## 7. 倫理的配慮

- ・本研究は聖隷クリストファー大学研究倫理委員会で審査を受け、承認(承認番号 24008)を受けた上で実施しております。
- ・不同意の意思を示しても、いかなる不利益も生じません。なお、研究期間終了後は、既に論文等で使用しているため、データを取り除くことは困難です。この場合は、データを研究に用いることをご容赦ください。
- ・本研究で得られた情報は、研究責任者が外部に漏れないように、デジタルデータはインターネット接続のないコンピュータ及び紙媒体のデータはカギの付いた保管庫で厳重に管理します。また、研究終了後から 10 年経過後に専門業者による機密書類溶解処理によって確実に廃棄いたします。
- ・研究内容について質問や何か心配なことがあれば、いつでもお問い合わせください。
- ・研究成果の公表については、施設、個人が特定されないよう統計的に処理した数字のみを用い学会発表や論文投稿にて研究成果を公表します。

## 8. 協力を希望されない場合(不同意)の連絡先

①連絡先 聖隷クリストファー大学 社会福祉学部 社会福祉学科 大場研究室

大場義貴 電話番号053-439-1425 yoshitaka-o@seirei.ac.jp

②連絡内容 1)あなたの調査対象区分を<表 1>から選びお知らせください。

2)あなたの性別をお知らせください。

### <表 1>調査対象区分

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・「浜松市 障がい者相談支援センター」</li><li>・「浜松市障がい者基幹相談支援センター」</li><li>・「浜松市 地域包括支援センター(高齢者相談センター)」</li><li>・「浜松市生活自立相談支援センター」</li><li>・社会福祉協議会</li><li>・民生委員・児童委員</li><li>・スクールカウンセラー</li><li>・スクールソーシャルワーカー</li></ul> |
|---|